

## 第3回草津市多文化共生推進プラン策定委員会 議事概要

■日時：

令和7年12月17日（水）13時30分～15時00分

■場所：

草津市役所 2階 特大会議室

■出席委員：

小澤委員、有村委員、堀池委員、成田委員、三好委員、中西委員、恩地委員、鶴田委員、久保田委員

■欠席委員：

南元委員

■事務局：

河合部長、小寺副部長、小川課長、山本係長、村井主任

■傍聴者：

0名

### 1. 開会

---

### 2. 審議事項

---

(1) 第2次草津市多文化共生推進プラン（案）について

【事務局】

<資料1に基づき説明>

【委員長】

事務局からの説明について、質問があればお願いします。

【委員】

15ページの実績目標「行政情報などのSNS（LINE、X等）での発信の回数」について、目標の500回 / 5年 [100回 / 1年（平均）] は、これからそれだけの数を発信するよ  
うな内容がある程度想定した上でこの数字にしているということでしょうか？

【事務局】

現在も SNS での発信自体は行っていますが、やさしい日本語での発信はできていないので、全庁的な発信回数の実績をもとに、やさしい日本語での発信回数の目標値を割り出しています。

**【委員長】**

「外国人住民」という言葉から「外国人市民」という言葉に変えられたのはとてもいいことだと思います。

**【委員】**

小学校や中学校の支援の対象から外れている人が地域の日本語教室に来ます。学校に行っている人は支援してもらえますが、例えば、16歳の子が日本に来たときに、中学校には入れないし、高校に行きたいけど高校の試験も難しいという状況にある人への支援はどこに行けば得られるのかがこれを見ただけではわかりません。

**【事務局】**

教育委員会は、恐らく義務教育の範疇になってくるかと思いますが、それ以外の方は、相談窓口としては、まずはまちづくり協働課に来ていただいて、そこから具体的な相談先が県になるのか、他の関係機関になるのか等は検討していくことになるかと思います。

**【委員】**

学校での児童生徒の受け入れにあたり、年齢によって一律で受け入れの学年を決めるのではなく、日本語能力など、状況に応じて柔軟な受け入れをしてほしいです。

**【事務局】**

日本語能力等により実際の年齢よりも下学年での受け入れについては、現行のプランにも記載されており、担当課からの報告にも、実情を把握した上で、下学年での編入の受け入れをしたという実績があります。

**【委員】**

24ページの「けん診」という表現について、なぜ「けん」はひらがな表記なのですか。

**【事務局】**

けんしんには「健診」と「検診」の二つがあり、二つの意味合いを含むときは「けん診」という表記にしています。

**【委員】**

プラン本編に加えて、概要版があることでより伝わりやすいと思います。全体を通じて、問題に対処するというよりは、これだけ多くの留学生を受け入れているので、多文化共生に価値があるということ、そのような環境ができているということを前向きに発信できるものであるといいなと感じています。概要版では、問題に対する対処というより、何かプラスア

ルファになるような発信ができるといいのかなと思います。例えば、概要版2ページの「草津市が取り組む必要のある課題」という表現について、少しネガティブな感じもしてしまいます。ミッションステートメントのような形で発信するほうがこれを見る人はより安心されるのかなと感じました。表現を少し変えるということであれば、例えば「草津市は以下のことに取り組みます」など。

**【事務局】**

表現を検討します。

**【委員】**

概要版に「やさしい日本語」という言葉が出てきていないのではないのでしょうか。日本人も外国人もやさしい日本語を積極的に使っていくという姿勢を示すために、どこかに「やさしい日本語」という言葉が入っていたほうがいいのではないのでしょうか。

**【事務局】**

概要版の表紙の右上に「やさしい日本語で作っています」という意味で「やさしい日本語」を記載しています。また、2ページの「1. 情報を伝える（コミュニケーションを助ける）」の中で「多言語やさしい日本語を使って外国人市民に情報を伝えます。」というふうにやさしい日本語についての記載はございますが、「やさしい日本語で作っています」ということが伝わりやすい表現等を検討します。

**【委員長】**

表紙右上の記載では少しわかりづらいので、もう少しメッセージ性をこの中に乗せた文章にするのか等検討をお願いします。

**【委員】**

概要版の2ページの文中に「多言語」と書いているところにも、「やさしい日本語」を足したら良いのではないかと思います。例えば、「2. 生活を助ける」の教育や医療（感染症対応含む）・保健サービスの項目の中にも「多言語」がありますが、そこでもやさしい日本語を使われるのですよね。

**【事務局】**

医療（感染症対応含む）・保健サービスの項目について、多言語で対応できる病院や薬局というのは、医師が多言語で伝えられる病院という意味での情報になるので、そこは多言語だけの表記になりますが、おっしゃっていただいたように乳幼児健診や健康相談については、やさしい日本語での対応を市職員には推進していますので、文言の追記を検討します。

#### 【委員長】

やさしい日本語は、外国人児童生徒あるいは保護者向けだけではなくて、市の様々な施策を小さな子どもや少し文字が読みづらくなったご高齢の方等に対しても優しくできるものだと思います。表現がやさしいから内容が薄まるのではなく、やさしい日本語に変換するには、内容の核心を掴んでおかないとないとやさしい表現にできません。

#### 【委員】

留学生に関する取組のところで、草津市国際交流協会がイベントを行って留学生に参加してもらうのが最近ほとんどだが、以前は大学のキャンパスの中で大学と草津市国際交流協会の両方が人的資源とお金を出し合ってイベントを開催していました。プランには、大学のことがあまり書いていませんが、大学も一緒に取り組んでいけたらと思います。

#### 【事務局】

32ページにそれぞれの役割として、主体毎に役割を書いています。「(8) 高等教育機関」に大学を含んでおり、「地域や国際交流協会等と連携し、市民への多文化共生や国際理解教育の推進・啓発、留学生等によるボランティア活動等、地域の多文化共生推進の取組への参画が期待されます」ということで大学の役割を記載しています。実際に、今月も立命館大学の国際寮でイベントを開催予定であり、地域へのイベントの周知を考えておられたりと、地域とのつながりをつくっていかれているところです。

#### 【委員長】

そういったイベントや交流の報告もSNSで発信してもらえると関係者の方への周知にもなりますね。

#### 【委員】

市の公式SNSの登録をしていますが、そういったイベントの情報をあまり見たことがないので、事後報告ではなく、事前にイベントについての発信があるとイベントに参加しやすいです。まちづくり協議会へ行くと、たくさんチラシはありますが、そこに行かないとわからなかった情報がすごくたくさんあって、そのような情報がSNSを使って発信されると、まちづくり協議会に行かなくてもわかるのでありがたいです。

#### 【事務局】

市の公式LINEのプッシュ通知での発信ですと、どうしても通知が多くなるとブロックされてしまうことがあります。数ある情報の中でも大事な情報は、やさしい日本語でプッシュしていこうという考えのもと、今回目標を設定しています。イベントについては、どこが主

催かによって市の公式 SNS で発信できるかどうかの判断をしていくことになります。

**【委員長】**

本日いただいたご意見を事務局には可能な限り拾っていただき、拾えなかった部分については、事業実施のときに工夫していただくといいことではないでしょうか。

**【委員】**

外国人労働者が多い環境で仕事をしている中で、その方たちが集う場が食堂なのですが、食堂を3年前に改装し、サイネージを30台導入して情報共有できるようなシステムにしました。外国人労働者の方にこのプランの中身を、こんなことを草津市は考えているということをお伝えしないと形骸化して持ち腐れになってしまうので、そのための情報発信をしていきたいなと思います。外国人労働者の方も安心してここに定住してみようかなという気持ちになる可能性もあるなと思いますので、来年早々にでもプレ的にそういうことしていきたいなと思います。そのためには、概要版すらも恐らく量的には多いので、一言で「草津市は外国人労働者の住みよいまちづくりを目指してこんなプランを考えています」のような、一瞬で読み取れるくらいの文字にして発信をしたらどうかと考えています。そのようなことをしないと、せっかくプランを作ったのに知らない人たちがたくさんいることになってしまうと思いますので発信が大事だと思っています。

**【委員長】**

こういう発信をされたというのをまちづくり協働課にも共有化していただいて、可能であれば他の草津市の企業さんにも同じようなフォームでまた届けられたりすると社会貢献という意味ですごく効果があるのではないかと思います。

**【委員】**

草津市内の企業のコミュニティのような協議会に入っていて、会合が月に1回ありますのでその場で草津市がこういうことを考えていますよということを共有させていただいて、発信してもらえないかということをお私が媒体につなげていくこともできます。

**【事務局】**

今後のスケジュールについてご案内させていただきます。これまで3回にわたってご議論いただきました第2次草津市多文化共生推進プラン（案）につきましては、最終案として12月24日に市長に答申をする予定です。答申にあたりましては、第2次草津市多文化共生推進プラン策定委員会を代表して小澤委員長に行っていただく予定です。本日の委員会にていただいたご意見を踏まえて、修正案については、小澤委員長に一任いただき、修正を加えたものを委員会からの最終案というかたちで答申をさせていただくといいことではないかと承承いた

けますでしょうか。

**【委員】**

(一同了承)

**【事務局】**

その後、1月5日から1か月間パブリックコメントの募集を予定しております。パブリックコメントでいただいたご意見の対応等を行った上で、3月に正式に策定を予定しています。

**3. 閉会**

---